

平成26年 2月 4日

お知らせ

情報提供先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

～平成25年度開催～

第3回『志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会』を開催します

志津見ダムにおいては、水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画を策定する「志津見ダム水源地域ビジョン」を平成24年3月13日に策定し、同日付で「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」を設立し、ビジョンの推進と関係組織相互の協働・連携・支援等を図っているところです。

今回、平成25年度の実施内容のフォローアップ及び平成26年度の実施計画の審議いただくため、第3回「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」を下記日程で開催します。

記

日時：平成26年 2月 5日（水）16：00～17：30

場所：さつき会館（島根県飯石郡飯南町八神117-1）

- 1) 議事次第：別紙-1参照
- 2) 審議内容：別紙-2参照

※傍聴・取材について：本委員会については一般の方の傍聴及び報道関係者の取材は可能です。



志津見ダムキャラクター「くにびきくん」

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

電話：0854-48-0780（代表）

（技術）副所長：玉田 ^{たまだ} ^{かずお} 一雄

志津見ダム管理支所

電話：0854-73-0222

志津見ダム管理支所長：青木 ^{あおき} ^{ゆきなり} 幸成

平成25年度開催

別紙-1

第3回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

日時：平成26年2月5日（水）16:00～17:30

場所：さつき会館

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

3. 出席者紹介

4. 議事

(1) 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約の改正について

(2) 第2回委員会以降の取組経過の報告について

(3) 平成25年度のプロジェクトの実施状況について

(4) 平成26年度の実施プロジェクト（案）について

1) 志津見ダム水源地域ビジョンに関する情報提供

2) 志津見ダム水源地域ビジョンの平成26年度のアクションプラン
計画（案）について

3) 志津見ダム水源地域ビジョンの広報計画（案）について

(5) その他

5. 閉会

●配布資料

- ・資料-1 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正（案）
- ・資料-2 第2回委員会以降の取組経過の報告
- ・資料-3 平成25年アクションプラン実施内容報告
- ・資料-4 志津見ダム水源地域ビジョンの今後の予定
- ・資料-5 志津見ダム水源地域ビジョンの広報計画（案）
- ・参考資料1 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会設立趣意・規約・委員名簿

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 委員名簿

(敬称略)

所 属 等	氏 名	備 考
志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会 会長	やま した きよし 山下 潔	
志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会 副会長	うえ だ しんいち 上 田 進 一	
志津見ダム対策同盟会 会長	ふじ はら あき お 藤 原 昭 男	
飯南町長	やま さき ひで き 山 碕 英 樹	委員長
島根県 土木部 斐伊川神戸川対策課長	み かみ やす のり 三 上 康 則	
島根県 雲南県土整備事務所長	たき とも たか 志 瀧 本 孝 志	
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長	たち けんいちろう 館 健 一 郎	

平成25年度の主な取り組み

○ポピー祭、コスモス祭

・ダム見学会、ダム湖巡視体験

昨年度参加者470名に対し、今年度は500名のご参加をいただきました。

・集まれ!ダムカードコレクション大会

全国のダムで配布されているダムカードの保有枚数を競う催しを開催しました。結果、**全368枚中366枚**を収集された方が1位となりました。



○紅葉ライトアップ

紅葉時期(11月初旬～中旬)に彩りの森および志津見ダムのライトアップを行いました。



平成26年度実施に向けた検討

従来からの取り組みを継続するとともに、以下の項目も取り組みます。

○広報の改善案の提示

①ホームページ改良

中国地方の直轄11ダムが連携して情報発信できるよう、ホームページを改良して参ります。H26年度は尾道松江線沿線の4ダム(志津見・尾原・灰塚・八田原)の魅力を発信します。

②パンフレット改良

モニターツアーなどで見学された方からのご意見を踏まえ、ダムの役割、魅力をご理解いただきやすいパンフレットに改良いたします。

③SNSの活用

中山間地域の活性化を支援するため、情報交換ツールとしてSNSを活用します。

④女子との連携強化

「おくいずも女子旅つくる!委員会(通称Okutabi)」などと連携して、ダムなどの社会資本を観光資源として活用することにより、水源地域の活性化を推進します。

○インフラツーリズムの展開

平成26年2月3日、尾原ダムにおいてインフラツーリズム実施。志津見ダムにおいても開催予定

○上・中・下流の交流推進

神戸川の生物調査などを通じ、水系内での上流・中流・下流の住民の交流を推進します。

